



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
コード番号 5955 URL <https://www.kk-yamashina.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 直樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役生産本部長兼管理本部長 (氏名) 平本 幸弘
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-591-2131

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,247	5.1	277	44.3	343	33.8	150	52.8
2023年3月期第3四半期	8,801	6.4	497	21.7	518	20.3	318	18.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 266百万円 (40.7%) 2023年3月期第3四半期 448百万円 (6.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	1.11	
2023年3月期第3四半期	2.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,130	11,981	62.9
2023年3月期	17,340	11,828	65.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,398百万円 2023年3月期 11,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	9.1	500	22.9	550	18.9	300	31.0	2.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有

新規 1 社 (社名) ヤマヤエレクトロニクス株式会社、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	143,611,765 株	2023年3月期	143,611,765 株
2024年3月期3Q	9,056,310 株	2023年3月期	8,605,307 株
2024年3月期3Q	134,965,521 株	2023年3月期3Q	136,131,941 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和から、個人消費の増加やインバウンドの拡大により景気は緩やかに回復傾向にあるものの、中国経済の成長鈍化、ロシア・ウクライナ情勢等による地政学リスクなどの懸念材料から先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの主要取引先である自動車業界においては、自動車各社の生産活動は正常化しつつありますが、中国市場におけるEV需要の加速、原材料価格及びエネルギー価格の高騰の長期化により、当社グループを取り巻く経営環境は、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおいては、経費削減及び営業力の強化等により業績の向上に努めるとともに、新たにヤマヤエレクトロニクス株式会社の株式を取得し子会社化することで、電子部品事業セグメントの拡充を図っております。

その結果、当第3四半期の経営成績は、売上高9,247百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益277百万円（前年同四半期比44.3%減）、経常利益343百万円（前年同四半期比33.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、150百万円（前年同四半期比52.8%減）となりました。

なお、ヤマヤエレクトロニクス株式会社を子会社化したことにより、事業内容をより適正に表示するため第2四半期連結会計期間より、従来「電線・ケーブル事業」としていた報告セグメントの名称を「電子部品事業」に変更しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、顧客による生産調整、原材料等の価格上昇により、売上高は5,991百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は209百万円（前年同四半期比46.7%減）となりました。

(電子部品事業)

電子部品事業におきましては、ヤマヤエレクトロニクス株式会社を子会社化したことによる増収がありましたが、M&A費用を支出した要因等もあり、売上高は1,260百万円（前年同四半期比4.6%増）営業利益は46百万円（前年同四半期比37.7%減）となりました。

(不動産事業)

保有不動産におきましては、安定した稼働率の確保に努めており、売上高は181百万円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益は84百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

(化成品事業)

化成品事業におきましては、受注が堅調に推移した結果、売上高は1,754百万円（前年同四半期比15.5%増）、営業利益は131百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、売電事業から構成されており、売上高は59百万円（前年同四半期比72.8%増）、営業利益は5百万円（前年同四半期比35.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて298百万円(3.6%)増加し、8,600百万円となりました。これは、現金及び預金が147百万円、電子記録債権が226百万円、商品及び製品が84百万円増加し、受取手形及び売掛金が358百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて491百万円(5.4%)増加し、9,529百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が545百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて568百万円(16.6%)増加し、3,984百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が106百万円、短期借入金が603百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて69百万円(3.3%)増加し、2,165百万円となりました。これは、長期借入金が30百万円、資産除去債務が54百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて152百万円(1.3%)増加し、11,981百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が57百万円、非支配株主持分が96百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月31日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092,038	2,239,367
受取手形及び売掛金	2,717,212	2,359,194
電子記録債権	804,229	1,030,792
商品及び製品	1,169,708	1,254,052
仕掛品	612,095	545,317
原材料及び貯蔵品	752,266	819,801
その他	158,069	355,079
貸倒引当金	△3,298	△2,735
流動資産合計	8,302,322	8,600,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,364,748	1,909,939
土地	5,260,793	5,261,846
その他(純額)	1,499,933	1,288,771
有形固定資産合計	8,125,475	8,460,557
無形固定資産		
のれん	16,167	121,409
その他	80,093	109,084
無形固定資産合計	96,261	230,493
投資その他の資産		
その他	825,620	848,519
貸倒引当金	△9,034	△9,574
投資その他の資産合計	816,586	838,945
固定資産合計	9,038,322	9,529,996
資産合計	17,340,645	18,130,867
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738,812	1,845,591
短期借入金	658,510	1,261,999
未払法人税等	55,538	55,998
賞与引当金	130,484	69,319
株主優待引当金	11,992	8,987
資産除去債務	70,928	70,928
その他	749,758	671,464
流動負債合計	3,416,024	3,984,288
固定負債		
長期借入金	241,166	271,260
退職給付に係る負債	577,048	572,312
役員退職慰労引当金	49,270	49,070
資産除去債務	43,206	97,726
その他	1,185,397	1,175,014
固定負債合計	2,096,087	2,165,384
負債合計	5,512,112	6,149,672

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	6,433,020	6,433,020
利益剰余金	3,713,384	3,728,826
自己株式	△431,722	△466,594
株主資本合計	9,804,682	9,785,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,180	42,264
土地再評価差額金	1,429,321	1,429,321
為替換算調整勘定	83,470	141,439
その他の包括利益累計額合計	1,536,972	1,613,026
非支配株主持分	486,878	582,915
純資産合計	11,828,533	11,981,194
負債純資産合計	17,340,645	18,130,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	8,801,264	9,247,315
売上原価	6,978,896	7,568,088
売上総利益	1,822,368	1,679,226
販売費及び一般管理費	1,324,449	1,401,833
営業利益	497,918	277,393
営業外収益		
受取利息	2,503	2,194
受取配当金	4,150	4,580
為替差益	9,187	5,137
助成金収入	2,119	48,182
その他	13,655	19,752
営業外収益合計	31,616	79,848
営業外費用		
支払利息	4,872	5,434
支払手数料	3,289	6,027
その他	2,922	2,387
営業外費用合計	11,085	13,850
経常利益	518,449	343,390
特別利益		
固定資産売却益	2,415	1,681
特別利益合計	2,415	1,681
特別損失		
固定資産除却損	1,721	1,749
工場移転費用	-	12,350
和解金	-	12,804
特別損失合計	1,721	26,904
税金等調整前四半期純利益	519,143	318,167
法人税、住民税及び事業税	166,399	137,043
法人税等合計	166,399	137,043
四半期純利益	352,744	181,123
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,909	30,674
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,834	150,449

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	352,744	181,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,537	17,265
為替換算調整勘定	109,320	67,654
その他の包括利益合計	95,783	84,920
四半期包括利益	448,527	266,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,358	226,502
非支配株主に係る四半期包括利益	47,169	39,541

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目を考慮し、法定実効税率を使用して計算しております。

(企業結合等関係)

当社は、2023年5月25日開催の取締役会において、ヤマヤエレクトロニクス株式会社の発行済株式を取得し、子会社化することを決議し、2023年5月25日付けで株式譲渡契約を締結しました。また、2023年7月3日付けで株式を取得したことにより子会社化しました。

当該企業結合について、第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の配分の見直しが反映され、暫定的に算定されたのれんの金額111,364千円は4,430千円増加し、115,795千円となりました。